

令和元年度 大阪体育大学浪商高等学校の学校評価(第三者評価)

日時 令和2年9月4日(金) 10月15日(木) 10月20日(火) 10月22日(木)

出席者 大阪体育大学 スポーツ教育学科長 浅井 正仁
大阪体育大学 健康スポーツマネジメント学科長 富山 浩三
大阪体育大学浪商中学校・高等学校 元保護者会会長 小林 弘輝
大阪体育大学浪商中学校・高等学校 校長 清水 俊彦
大阪体育大学浪商中学校・高等学校 副校長 恩塚 千代
大阪体育大学浪商中学校 教頭 濱田 倫史
大阪体育大学浪商中学校・高等学校 事務長 寺西 正和
大阪体育大学浪商中学校・高等学校 入試対策室室長 外畑 拓哉
大阪体育大学浪商高等学校 教頭 工藤 哲士
大阪体育大学浪商高等学校 主幹教諭 福光 聖美

1 学校評価及び学校診断アンケートの結果報告

「令和元年度取り組み内容および達成状況(2019)」「学校診断分析のための基礎資料(肯定率からの分析・自由記述からの分析)」「項目別比較(全体)」の資料、さらに生徒、保護者、教職員の「学校診断アンケート結果(コース別、学年別)」の資料に基づき詳細な説明を行う。

2 第三者評価について(学校関係者評価を中心に)

1) 目指す学校像は「中長期目標」として、①「智・徳・体を修め社会に奉仕する」建学の精神を再確認し、生徒一人ひとりに豊かな心を身につけさせる ②希望進路の実現 ③信頼される学校 ④浪商ブランドの確立。上記①～④を具体的な「重点目標」に設定している。

2) 重点目標の設定は、進学とスポーツの2本柱として浪商ブランドを確立させることを基本として、①学習活動の充実、②部活動成果を第一に挙げている。次に生徒の希望進路実現のために、③進学指導マネジメントシステムの構築、④進学実績の向上、⑤中高一貫体制の確立を重点目標に設定している。また生徒一人ひとりに豊かな心を身につけさせるために、⑥規律・規範の確立と自主性の伸長、⑦人権教育・安全教育の充実などをあげ、中長期目標に沿った具体的な重点目標と取り組みが示されていると評価できる。

3) 上記の重点目標①～⑦の具体的項目毎に、令和元年度の「具体的取り組み内容とその達成状況」を5段階(S、A～D)で学校関係者による評価が示されている。その学校関係者評価と対応して、令和元年度の「今後の課題と取り組み」も表記されている。また今年度の特徴(過去3年間との比較)、項目別比較、学年別比較、コース別比較、アンケート対象者別比較、様々な観点から検証を行うとともに項目別の検討課題を抽出し、具体的な対策まで明確に示されている。

以上、「令和元年度取り組み内容および達成状況(2019)」の資料を総括して、貴校の学校評価への取り組みは適切なものであると評価できる。